

高知県環境活動支援センターえこらぼ

令和３年度の取り組み

令和３年４月～令和４年３月

高知県環境活動支援センターえこらぼについて

高知県環境活動支援センターは、県民一人ひとりの環境への関心を高めて環境にやさしいライフスタイルの輪を広げ、地球温暖化対策が進んだ脱炭素社会、環境への負荷が少ない循環型社会、自然環境の保全が図られた自然共生社会の構築を目指すために平成 18 年 4 月に設置されました。以来、県民の環境活動や環境学習の推進拠点として、環境情報の発信や環境学習講師の派遣、環境イベントの開催、生物多様性の保全の普及活動などの事業を行っています。

も く じ

1 環境活動に関する情報発信	1
1) ホームページによる環境活動情報の提供	2
2) ホームページ以外の情報提供	2
2 地域や教育現場における環境学習の支援	3
1) 環境学習講師の紹介・派遣	3
2) 第10回 高知「環境絵日記」	4
3) こどもエコクラブ事業	11
3 生物多様性地域戦略推進事業	13
1) 生物多様性こうち戦略推進リーダー養成講座の開催	13
2) 生物多様性こうち戦略推進リーダー活動現場体験ツアーの実施	15
4 環境イベントの開催	16
1) 「こうち環境博 2022」関連イベントの開催	16
5 生物多様性の意義の普及・啓発	18
1) ふるさととのいのちをつなぐ こうちプラン大賞	18
2) 生物多様性こうち戦略推進リーダー活動報告会の開催	21
3) 普及啓発キット（パネル・資料等）の貸出し	22
6 環境活動団体の支援	23
1) 助成金情報の提供	23
7 その他、環境保全や環境学習、県民・環境団体の環境活動の支援に資する業務	23
1) 環境学習プログラムリストの作成・活用	23
2) 環境にやさしい行動への変容を促すリーフレットの作成と配布	25
8 PR 活動	25
1) PR ツールの活用	25
2) 報道機関への情報提供	25
9 センターの運営	26
1) センターの開館日及び開館時間	26
2) 運営委員会の組織・運営	26
3) 高知県との定期連絡会の開催	26

1 環境活動に関する情報発信

■高知県環境活動支援センターえこらぼ ホームページ

高知県環境活動支援センター
えこらぼ

管理運営団体：特定非営利活動法人 環境の杜こうち
〒780-0935 高知県高知市旭町三丁目115番地 こうち男女共同参画センター3F
TEL：088-802-7765 FAX：088-802-2205

home about mail facebook

えこらぼについて
イベント情報
お知らせ・募集情報
学校や地域での環境学習をサポート
講師紹介・派遣
体験プログラムや学習会に参加しよう
高知県の環境学習施設一覧
活動を知ろう・なかまを増やそう
環境活動団体紹介
生物多様性を守る取り組み
高知「環境絵日記」
こどもエコクラブ高知県事務局
メールマガジン
「えこらぼだより」
助成金情報
リンク集
お問い合わせ
サイトマップ

**令和3年度
ふるさとのおいのちをつなぐ
こうちプラン大賞 公開選考会**

日時：令和4年3月21日（月・祝）13:00～16:00
会場：Zoom ウェビナーによるオンライン開催
https://us06web.zoom.us/j/84784599805
参加費：無料（申込み不要）

トピックス

◆えこらぼの所在地・ご利用時間◆
高知市旭町三丁目115番地 こうち男女共同参画センター「ソーレ」3F
（NPO法人 環境の杜こうち）
TEL：088-802-7765 FAX：088-802-2205
E-mail：center@ecolabo-kochi.jp

◇ご利用時間◇
月曜日 10:00～17:00 火～金曜日 10:00～18:00
土曜日 13:00～17:00 ※日曜日、祝日、第2水曜日休み
環境活動や環境学習に関するご相談など、お気軽にご利用ください。

イベント新着 お知らせ新着 助成金新着 ←見たい情報タグをクリックください

2022/03/22 【イベント情報】
「たけのご掘りにチャレンジ in 久重」親子イベント（4/23） 詳細

2022/03/22 【イベント情報】
「早春の花を訪ねる三辻山 登山」（4/9・10） 詳細

2022/03/22 【イベント情報】
アニマルランドクイズラリー（4/3） 詳細

2022/03/22 【イベント情報】
巡回展関連イベント講演会「横倉山でみられる絶滅危惧種」（4/29） 詳細

令和3年度
高知「環境絵日記」
選考結果発表

第6回
こうちエコ川柳大賞
選考結果発表

こどもエコクラブ
JUNIOR ECO-CLUB

環境関連のイベント・ニュースを配信
メールマガジン
えこらぼだより

管理運営団体
特定非営利活動法人 環境の杜こうち
〒780-0935 高知県高知市旭町三丁目115番地 こうち男女共同参画センター3F
TEL：088-802-7765 FAX：088-802-2205

home about mail

Copyright © ecolabo All Rights Reserved.

1) ホームページによる環境活動情報の提供

① 環境活動団体及び環境学習講師のデータベース（検索機能付）

高知県内で環境活動に取り組む団体や環境学習講師として活動する方々を登録し、データベースを公開しています。登録内容の確認・更新作業を定期的に行い、新しく登録した団体や講師に関する情報も随時掲載して、広く県民に情報を提供しています。

[登録]	環境活動団体： 122 団体	環境学習講師： 157 名
------	----------------	---------------

② 環境学習に係る施設、各種資料等

高知県内で自然体験や環境学習プログラムを提供している施設に関する情報をまとめてホームページで公開し、環境学習に関する相談等への対応においても積極的に紹介して、利用を促しています。また、国や各種機関等が環境問題に関する情報を提供するウェブサイトへのリンク集を作成し、県民が最新の情報にアクセスできるよう支援しています。

③ 環境関係のイベント情報や助成金情報の提供

高知県内の環境イベントや助成金等の情報を独自に収集するとともに、環境活動団体等から寄せられる情報も加えて、メールマガジン「えこらぼだより」と連動して毎週火曜日に情報を更新しています。

[掲載件数]	イベント情報： 204 件	募集・お知らせ： 32 件
	助成金情報： 60 件	

2) ホームページ以外の情報提供

① メールマガジン「えこらぼだより」の配信

高知県内で実施される環境に関するイベント情報や助成金情報などを、毎週火曜日に配信しています。配信登録は随時ホームページから行うことができます。

[配信頻度]	毎週火曜日	[登録者数]	1,105 名
[主な配信先]	環境に関心のある県民、県内の環境活動団体、県内の小・中・高等学校、県・市町村職員、県内マスコミ各社 など		

② 学校への直接的な情報提供

学校や教育委員会等に対し、えこらぼの紹介・利用案内資料を送付するとともに、環境学習講師の紹介・派遣や高知「環境絵日記」等の学校を対象とする各種事業に関する情報提供を随時行いました。

③ SNS を活用した情報の発信

センターが実施する各種事業の告知・報告等に Facebook を積極的に活用しました。

[投稿記事件数]	39 件	[フォロワー数]	529 名
----------	------	----------	-------

2 地域や教育現場における環境学習の支援

1) 環境学習講師の紹介・派遣

学校や放課後児童クラブ、企業・団体及び一般の県民の方々等からの相談に随時対応し、適切な環境学習講師の紹介、提案、派遣日時や内容等の調整といったコーディネートを行っています。また、相談者が講師の謝金、旅費等を負担しえない場合は、講師に活動費を支給して、県民の環境学習の場、機会づくりを支援しています。

令和2年度は、コロナ禍による一斉休校やイベント等の中止等のため、講師紹介・派遣件数が30%程度、受講者数は約40%減少していましたが、令和3年度は、新しい生活様式の普及に伴い、令和2年度に作成した小学校向け環境学習パンフレット「環境学習で横断するカリキュラムマネジメント 授業でのえこらば活用のすすめ」の活用が進み、紹介・派遣件数はコロナ前の水準以上に増加しました。

〔講師紹介・派遣件数〕	76 件	〔紹介・派遣した講師〕	115 名
〔環境学習受講者数〕	2,376 人		



6/2 宿毛市立宿毛高等学校
SDGsかるた

講師：高知県地球温暖化防止活動学生推進員



6/3 久重小学校ぐんぐんクラブ
葉っぱビンゴ

講師：はぐくみプロジェクト さん



7/9 四万十市立竹島小学校
干潟の生きもの

講師：海辺の自然史研究舎 中地 シュウ さん



10/28 香南市立野市東小学校
海のごみとマイクロプラスチック

講師：環境の杜こうち 兼松 方彦 さん

2) 第10回 高知「環境絵日記」

高知県内の小学生を対象に、子どもたちが夏休みに環境について考え、行動し、その経験を絵日記に表現することで、環境への意識や理解を育むことを目的とした「環境絵日記コンテスト」を実施しています。

令和3年度は、作品テーマを「未来につなごう 高知のたからもの」とし、県内の小学校に通う1～6年生を対象に作品を募集しました。昨年度は新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う一斉休校の影響で参加校、応募作品数共に減少していましたが、今年度は84の小学校から、過去最多となる4,268作品の応募がありました。



作品テーマ	未来につなごう 高知のたからもの
募集期間	令和3年6月15日～9月7日
応募資格	高知県内の小学校に通う1～6年生 自筆・未発表の作品
応募方法	在学の小学校へ提出（学校ごとに取りまとめて応募）
協力	横浜市資源リサイクル事業協同組合

① 令和3年度応募数

応募 作品数	県内小学校 児童数※1	応募率	参加 学校数	県内小学 校数※2	参加率	参加 市町村数	県内 市町村数	参加率
4,268	31,226	13.7%	84	187	44.9%	24	34	70.6%

※1 高知県「令和3年度学校基本調査」による。

※2 「令和3年度高知県学校数一覧表」（高知県教育委員会事務局）による。

② 選考委員会の開催

有識者5名からなる選考委員会を開催し、募集要項および作品テーマの決定、表彰対象作品の選考を行いました。

	開催日	内容
第1回選考委員会 （書面開催）	令和3年 5月31日	募集要項、作品テーマの決定等
第2回選考委員会	令和3年 10月27日	二次選考および優秀作品選考会

③ 作品選考会の実施

令和3年10月23日に、生物多様性こうち戦略推進リーダー、高知県地球温暖化防止活動推進員、大学生等からなるボランティア選考員による一次選考会を行い、二次選考の対象となる107作品を選考しました。10月27日には、選考委員会による二次選考および優秀作品選考会を行い、環境絵日記大賞、優秀特別賞、部門賞、学校賞、学校特別賞の選出をしました。

■個人の部

環境絵日記大賞
優秀特別賞
部門賞

のいち動物公園長賞
入賞（えこらぼ賞）

全作品から最も優れた作品1点
低学年の部（1～3年生）、高学年の部（4～6年生）より10点
脱炭素社会づくり賞、循環型社会づくり賞、
自然共生社会づくり賞 各1点
1点
全作品の中から92作品

■団体の部

学校賞
学校特別賞

入賞作品の多い学校から低学年、高学年それぞれ1校ずつ
特に熱心な取り組みをした学校を3校

④ 選考結果の発表

選考結果の発表は、令和3年10月28日にホームページで行いました。

高知県環境活動支援センター

えこらぼ

環境活動支援センター 特定非営利活動法人 環境の村こうち
〒780-0935 高知県高知市地蔵寺1丁目115番地 えこらぼ環境活動センター3F
TEL: 088-802-7765 FAX: 088-802-2205

★home about mail facebook

令和3年度 高知「環境絵日記」

未来につなごう 高知のたからもの

環境活動支援センターえこらぼでは、今年度も、高知市内の小学生が書いた「環境絵日記」の作品を募集しました。
高知「環境絵日記」は、子どもたちが夏休みや家族と一緒に環境について考え、行動し、その経験を1枚の絵日記に表現することで、環境への意識や理解を育んでいくことを目的に始めた取り組みです。

令和3年度の作品テーマは「未来につなごう 高知のたからもの」。

高知市内の小学校に送る1～6年生を対象に作品を募集し、84の小学校から4,268作品の応募がありました。

環境絵日記大賞
「カメは何っていうかな」
高知学園高知小学校3年生 岡田 哲昇さん

4,268の応募作品の中から、「環境絵日記大賞」「優秀特別賞」「部門賞」「のいち動物公園長賞」「入賞（えこらぼ賞）」に選ばれた107作品を紹介します。児童のみなさんの、身近な環境についての意見をどうぞご覧ください。

[令和3年度高知「環境絵日記」入賞作品一覧へ](#)

■環境絵日記大賞

高知学園高知小学校 3年 岡田 哲昇

■優秀特別賞 10名

四万十市立東山小学校 1年 佐竹 菜々
高知学園高知小学校 2年 西野 詢二
高知市立初月小学校 2年 武藤 友希
高知大学教育学部附属小学校 4年 石飛 葉奈
高知市立湖江南小学校 4年 西田 悠真
南国市立大篠小学校 4年 藤田 朗楽
高知市立鴨田小学校 4年 山本 いつき
香美市立楠目小学校 5年 森本 悠月
香南市立野市東小学校 6年 森澤 尚央
香南市立野市東小学校 6年 仙頭 柊二

■脱炭素社会づくり賞

香美市立大宮小学校 6年 小松 白

■循環型社会づくり賞

高知市立泉野小学校 4年 上田 青空

■自然共生社会づくり賞

高知市立横浜新町小学校 2年 楠山 文韻

■のいち動物公園長賞

香南市立佐古小学校 5年 北川 皐

■団体の部

・学校賞低学年の部 高知学園高知小学校
・学校賞高学年の部 香南市立野市東小学校
高知学園高知小学校
香美市立楠目小学校
南国市立稲生小学校
四万十町立興津小学校

令和3年度高知「環境絵日記」講評

ー未来につなげよう！子どもたちが大切にしたい 高知のたからものー

今年10年目を迎えた高知「環境絵日記」

高知「環境絵日記」に参加して下さった児童のみなさん、保護者のみなさん、教員のみなさん、みなさんに支えられて高知「環境絵日記」は今年で10年目を迎えることができました。高知「環境絵日記」のホームページの作品を見ると、10年間の環境意識の変化を見ることができます。高知「環境絵日記」が始まった平成27年のころは、レジでプラスチックの袋を辞退するために声掛けをしていましたが、10年度の今、レジ袋が必要だとわざわざ声掛けしなくてはならなくなったことは、大きな変化だと実感しました。また、10年間に海洋生物とマイクロプラスチックの関係などの問題も明らかになり、ストローの素材にまで環境保全意識が広がってきています。



ボランティア選考員による一次選考会

高知県内84の小学校が参加 応募総数4,268作品

今年の高知「環境絵日記」のテーマは、次の10年を意識して、「未来につなごう 高知のたからもの」にしました。新型コロナウイルス感染症が広がっている日本や高知の「未来」や「未来」に残したい「たからもの」が児童のみなさんを触発したのか、昨年度よりも963名も多い4,268名から作品が送られてきました。これもひとえに、高知県の自然環境を大切に思っている保護者のみなさま、学校の先生方のおかげではないかと、ありがたく思っております。

未来につなぎたい 多様な高知のたからもの

児童のみなさんが送ってくださった作品を読んでいると、高知県には未来につなぎたいたからものがたくさんあることに気づかれます。高知県のたからものは、山から、川、海まで、さまざまな分野にわたっていて、たいへん多様であることに改めて気づかされたという感想を持った選考委員もいました。受賞作品をはじめ、今年に応募作品には驚くぐらい多様な動植物が描かれています。「優秀特別賞」に選ばれた「神様が消える？」にあるように、高知県で暮らしている児童のみなさんには当たり前の生物の名前も、他の都道府県の子どもたちにとっては「ハテナ？」かもしれません。

今年環境絵日記大賞は「カメは何っていうかな」

さて、本年度の「環境絵日記」大賞には「カメは何っていうかな」が選ばれました。水族館に行って海に捨てられているプラスチックごみをみて、ウミガメの気持ちに思いをはせた内容です。「心がどんよりした」、「友だちになってくれるかな」と心配になったと文章に記されています。水族館で同じプラスチックごみを見たみんながそう感じたでしょう。絵の部分には「カメが大好き」「カメにもぼくを好きになってほしい」という作者の気持ちがたくさんの少年たちの表情や動きのなかにも表れています。しかし、そうした思いも口をかたく閉じ、少し怒っているような眼をしたウミガメが拒絶しているようにも見えます。口をかたく閉じているカメの表情は、多くの人に「心がどんより」、「友だちになってくれるかな」、「カメは何っていうかな」という気持ちをひきおこすでしょう。文章だけでは足りないものを、絵でしっかりと補うという「絵日記」のよさが表れた作品であったと思います。



選考委員を大いに悩ませた最終選考会

選考委員からは、児童のみなさんの生き生きとした作品に対し、ついつい引き込まれて楽しむことができたが、気持ちが引き締まる思いがするという感想を持った者もありました。10年前に比べ、今年集まってきた作品はいずれも体験したことや学んだことを忠実に表現するだけでなく、みなさんの心が動いたことをしっかりと表現しようとしていることが感じられました。高学年のみなさんには、説明的な絵ではなく、伝えたいことを取捨選択し、効果的な表現の工夫を考えてみてもらえるとさらに良くなるのではないかと思います。

おしくも入賞をのがした作品にも、作者であるみなさんが未来に伝えたい高知のたからものがたくさん表現されていました。選考にはたくさんの時間をかけ、実に苦労いたしました。本当はすべての作品を表彰したい気持ちでいっぱいです。これからも、家族みなさんと一緒に身近なエコにチャレンジして、来年も応募してください。

令和3年度高知「環境絵日記」選考委員会

⑤ 表彰式

「環境絵日記大賞」、「優秀特別賞」、「部門賞」、「のいち動物公園長賞」の受賞児童、「学校賞」および「学校特別賞」の受賞校を表彰しました。表彰式は高知県立のいち動物公園内のイベントスペースで行い、家族や先生方の見守る中、受賞児童一人ひとりに表彰状を手渡しました。

開催日	令和3年11月28日（日）11:00～12:00
場 所	高知県立のいち動物公園 どうぶつ科学館 1 階



⑥ 作品展

表彰式と同時に行う高知県立のいち動物公園での入賞作品展をはじめ、県内の施設やイベント等で作品展を行いました。

日 程	会 場
令和3年11月13日～11月28日	高知県立のいち動物公園 どうぶつ科学館
令和3年12月15日～12月26日	こうち男女共同参画センター ソーレ
令和4年1月20日～2月2日	高知県庁 1 階ホール
令和4年2月10日～2月23日	オーテピア高知図書館 2 階 共同楽習スペース
令和4年3月10日～3月19日	こうち環境博 2022 (こうち男女共同参画センター ソーレ)



11/13～11/28 高知県立のいち動物公園



3/10～3/19 こうち環境博 2022

⑦ こうち「環境絵日記」 in Tシャツアート展



黒潮町で開催された「Tシャツアート展」(令和3年10月30日(土)～11月3日(水)、主催:特定非営利活動法人 NPO 砂浜美術館)に、令和2年度の優秀作品を出展し、県民に広く環境絵日記を知ってもらう機会としました。展示後のTシャツは記念品として受賞児童に贈りました。

また、次の「Tシャツアート展」(令和4年5月開催)に出展するため、今年度の優秀作品をプリントしたTシャツを制作しました。制作したTシャツは、11月に県立のいち動物公園で実施した入賞作品展、3月に開催された「こうち環境博 2022」の会場で一足先に展示し、PRを行いました。

⑧ 参加賞『高知「環境絵日記」 えこらぼノート』の製作

高知「環境絵日記」の参加賞として、自由帳を製作し、全応募児童に贈りました。子どもたちに、高知県の自然や環境への関心を高めてもらえるよう、表紙に「高知のめずらしい生きもののシリーズ」として、高知県内に生息する希少生物のイラストを配置し、裏表紙にはえこらぼの登録講師の協力を得て、その生物の生態についての解説文を掲載しました。また、来年度も環境絵日記に応募してもらえるよう、環境絵日記の書き方のヒントや、環境を守るために一人ひとりにできる取り組みを紹介するとともに、『高知「環境絵日記」サポーター』および協力団体の名称を掲載しました。

仕様： B5 版 36 ページ 製作部数： 4,300 部



⑨ 高知「環境絵日記」PR 用カレンダーの製作

高知「環境絵日記」の認知度向上と、次年度の参加校拡大につなげるため、今年度の優秀作品を掲載したカレンダーを製作しました。このカレンダーは、令和 4 年度の募集に合わせて、県内の小学校等へ配布します。

仕様： A4 版 16 ページ 製作部数：800 部



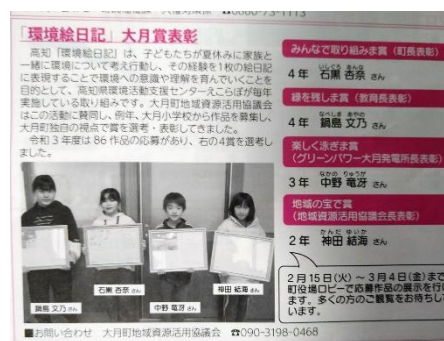
⑩ 地域における環境絵日記の活用

◇『高知「環境絵日記」大月賞』

大月町では、平成 30 年度より、町内の小学生が応募した環境絵日記を独自に選考・表彰する『高知「環境絵日記」大月賞』が実施されています（主催：NPO 法人大月地域資源活用協議会）。令和 3 年度は、町役場ロビーで作品展が行われ、えこらぼから作品データの貸与などの協力をしました。



2/15～3/4 大月町役場ロビーで作品展



大月町の広報誌に掲載されました

◇南国市・いの町 指定ごみ袋包装紙による普及啓発

南国市といの町では、各市町指定のごみ袋の包装紙に、地域の小学生が描いた環境絵日記の作品を掲載しています。この取り組みは、南国市では平成 25 年度から、いの町では令和元年度から行われています。「環境絵日記」を通して地域の方々に子どもたちの環境意識を届けることにより、ごみ減量やリサイクルの推進についての普及啓発につながることが期待されます。



⑪ 高知「環境絵日記」サポーターの募集

高知「環境絵日記」の趣旨に賛同する企業や団体を対象に、一次選考会への社員等の参加、自社の施設等での作品展の開催などの協力を行う「環境絵日記サポーター」を募集しました。高知「環境絵日記」の実施に協力くださっている企業等を対象に呼びかけ、2社からの登録を得ました。

登録団体・企業： 筒井紙業印刷株式会社、セルクルデザイン工作室

⑫ 高知「環境絵日記」10周年記念リーフレットの作成・配布

高知「環境絵日記」は、令和3年度で第10回を数えました。そこで、10年間の取り組みの成果や、過去の受賞者や関係者へのインタビューをまとめたリーフレットを作成し、高知「環境絵日記」の取り組みに賛同し、協力してくださった方々にお送りするとともに、作品展等の機会に配布しました。



3) こどもエコクラブ事業

高知県事務局および市町村事務局のない区域の事務局として、県内の小中学校や企業・団体等へのこどもエコクラブの紹介および新規登録の勧誘、登録クラブの地域での環境保全活動や環境学習に対する支援を行っています。

高知県内のこどもエコクラブ

登録数：14 クラブ

メンバー数：86 人

① こどもエコクラブ壁新聞の募集

各クラブの1年間の活動をまとめた壁新聞を募集し、こどもエコクラブ全国事務局が実施する「こどもエコクラブ全国エコ活コンクール」に応募しました。

応募数：6 クラブ 6 作品

高知県代表には「香美市こどもエコクラブ 自ぜんとふれあいたい」の作品「地球を守る10の方法」が選ばれ、「こどもエコクラブ全国エコ活コンクール 壁新聞部門」において、全国から応募のあった141枚の中から「こくみん共済 coop 賞」を受賞しました。表彰式は、令和4年3月20日にオンラインで開催された「こどもエコクラブ全国フェスティバル」の中で行われ、他の都道府県代表クラブ等と、活動発表を通じて交流しました。



② こどもエコクラブ壁新聞展の開催

令和4年3月10日(木)～3月19日(土)、「こうち環境博2022」(主催：こうち環境博2022実行委員会)の会場で、令和3年度の応募作品6枚を展示しました。

③ こどもエコクラブ活動発表・交流会の開催

令和4年3月19日(土)「こうち環境博2022」において、活動発表・交流会を開催し、県内の6つのクラブが参加。1年間の取り組みの成果を発表しました。



④ こどもエコクラブ活動体験イベントの開催（内容の変更）

昨年度から香美市こどもエコクラブの活動を体験するバスツアーの実施を計画していましたが、今年度も新型コロナウイルス感染防止の観点から中止しました。そこで、「こうち環境博 2022」の会場において、香美市こどもエコクラブが開発に参加した、脱炭素やSDGsについて学ぶボードゲーム「エコポリー」を実施し、イベントの来場者にこどもエコクラブの活動を体験してもらいました。



3 生物多様性地域戦略推進事業

1) 生物多様性こうち戦略推進リーダー養成講座の開催



「生物多様性こうち戦略」を推進するため、生物多様性の保全や普及、担い手育成、各主体間の連携促進や地域資源の発掘・活用に関しての専門性を有する先導的な人材として、「生物多様性こうち戦略推進リーダー」（以下、リーダー）を養成する講座を開催しました。

今年度は、講座1と講座2の両方を受講することでリーダー登録が可能となりました。講座1は、生物多様性に関する基本的な知識と「こうち戦略」について学ぶ内容で、テーマの異なる2つの講義のうち、いずれか1つを選んで受講できるようにしました。講座2は、生物多様性こうち戦略推進リーダーによる活動報告会か、または受講者の所属団体や活動地域等に環境学習

講師を派遣して実施する現地講座への参加としました。

今回、講座1のテーマの一つを「地域資源の持続的活用」とし、観光ガイド等、観光産業に携わる人を主な対象に受講者を募集し、多くの参加を得ました。翌週に実施した、高知県の自然の現状と保全をテーマとする講座と両方を受講した人も多く、地域の自然資源への関心の高さが伺えました。

◇講座1：生物多様性と「こうち戦略」について

① 地域資源の持続的活用と生物多様性

日時：令和3年7月24日（土）10:00～12:00

場所：こうち男女共同参画センター ソーレ 5階視聴覚室

受講者：41名（会場12名、Zoom26名、録画視聴3名）

◇講座内容

- ・生物多様性こうち戦略推進リーダー登録制度の概要
..... 高知県林業振興・環境部 自然共生課
- ・地域資源の持続的活用と生物多様性
・高知生物多様性ネットワーク 代表、NPO 法人大月地域資源活用協議会 岩瀬 文人 氏

② 「高知の“自然が豊か”は本当か？！－生物多様性こうち戦略について」

日時：令和3年7月31日（土）10:00～12:00

受講者：33名（会場12名、Zoom20名、録画視聴1名）

◇講座内容

- ・生物多様性こうち戦略推進リーダー登録制度の概要
..... 高知県林業振興・環境部 自然共生課
- ・「高知の“自然が豊か”は本当か？！－生物多様性こうち戦略について」
..... 高知大学 名誉教授 石川 慎吾 氏



観光ガイド用に作成した募集チラシ



7/24（土）「地域資源の持続的活用と生物多様性」



7/31（土）「高知の“自然が豊か”は本当か？！
ー生物多様性こうち戦略について」

◇講座２：生物多様性こうち戦略推進リーダー活動報告会や現地講座への参加

① リーダー活動現場体験ツアー「高知の宝・今ノ山の植物を知ろう」

日 時：令和３年 9 月 18 日（土） 9:00～15:00

場 所：土佐清水市今ノ山山頂付近

コーディネーター：浜口 和也 氏（サンゴと森の救援隊）

講 師：高知大学名誉教授 石川 慎吾 氏

受講者：8 名

② 佐川町牧野公園観察会（牧野公園ガイドの勉強会）

日 時：令和３年 10 月 4 日（月） 9:00～12:00

場 所：佐川町 牧野公園（高岡郡佐川町甲 2458）

受講者：3 名

コーディネーター：村川 愛美 氏（牧野公園ガイド）

講 師：森林総合研究所四国支所 佐藤 重穂 氏



③ リーダー活動報告会

「絵が苦手でもかける自然観察ノート ネイチャージャーナルを体験しよう」

日 時：令和３年 11 月 18 日（木） 10:00～12:30

場 所：高知市市民活動サポートセンター会議室、山内神社（鷹匠公園）

受講者：3 名

講 師：日本ネイチャージャーナルクラブ 小林 絵里子 氏

④ リーダー活動報告会「土佐のお庭は薬箱」

日 時：令和４年 2 月 5 日（土） 14:00～15:30

場 所：こうち男女共同参画センター ソーレ 3 階 研修室 1（オンライン参加可）

受講者：10 名

講 師：高知薬草健工房 関田 泰子 氏

■登録状況

登録者数：72 名 ※うち 令和３年度登録者：20 名

2) 生物多様性こうち戦略推進リーダー活動現場体験ツアーの実施

地域における生物多様性保全や環境教育の担い手となる人材を育てることを目的に、リーダーが活動している現場の体験ツアーを実施しました。

① 『ジンデ池の生物調査と保全活動』（須崎市）

リーダーの植村厚子さんと優人さんが「集落活動センターあわ」と協力して取り組んでいる、ため池の生物調査と保全に向けた活動の現場を見学し、地域における生物多様性保全の取り組みについての知見を深めました。

当日はリーダー等 9 名が参加し、防災対策として廃止が検討されていたジンデ池で 2019 年から生物調査を行っている優人さんを講師に池の生き物観察を行いました。また、須崎市が池を残し環境に配慮した防災工事を行う決定をしたことを受け、今後の保全活動について、集落活動センターの方を交えた意見交換を行いました。参加者からは、外来種が入っていない貴重な自然を守る整備の方法や、長期的に維持・保全していくための地域と連携した仕組みづくり等について、数多くのアイデアが出されました。

日 時：令和 3 年 7 月 11 日（火）9:30～12:30

場 所：須崎市安和 ジンデ池、安和公民館

対象者：生物多様性こうち戦略推進リーダー等

コーディネーター・講師：植村厚子さん、植村優人さん（ジンデ池生物研究所）

参加者：9 名（リーダー 5 名、その他 4 名）



② 『高知の宝・今ノ山の植物を知ろう』（土佐清水市）

土佐清水市で「サンゴの森の救援隊」として活動する浜口和也さんの案内で、「特定植物群落」に指定されているところがある今ノ山の植物を観察するツアーを実施しました。石川慎吾 高知大学名誉教授を講師に、広葉樹をはじめとする今ノ山の植物の多様性と魅力を知り、これらを保全し次世代へ伝えていくにはどうすれば良いかを考えるきっかけとなりました。

当日は、リーダーおよびリーダー養成講座受講者の他に、地域住民の参加もあり、樹木の名前とその利活用についての解説を聞きながら、ゆっくり時間をかけて山を登りました。参加者からは、標高による植生の変化を体感し、頂上付近の原生林に近い自然や、樹齢数百年のモミやアカガシの巨木に出会ったりしたことを通して、身近なところにある自然の豊かさに改めて気づいた、という感想が聞かれました。

日 時：令和3年9月18日（土）9:00～15:00

場 所：土佐清水市今ノ山山頂付近

コーディネーター：浜口 和也 氏（サンゴと森の救援隊）

講 師：高知大学名誉教授 石川 慎吾 氏

参加者：25名（リーダー及び養成講座受講者10名、一般参加者15名）



4 環境イベントの開催

1) 「こうち環境博 2022」関連イベントの開催

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、従来行ってきた「環境活動見本市」の開催は見送り、県内各地でえこらぼの登録団体・講師による小規模な自然観察会やワークショップ等の環境学習会を複数開催し、それらを「こうち環境博 2022」の関連イベントとして広報することで、環境活動団体や環境学習講師の活動を広く県民に知ってもらう機会としました。

① 冬の野鳥観察会 2022

川や松林、湿地等、多様な環境がある入野の浜周辺に集まる野鳥を観察しました。

日時：令和4年2月12日（土） 9:00～11:30

2月19日（土） 9:00～10:30

場所：黒潮町 砂浜美術館

講師：高知野鳥の会 森 富美男氏、森 隆秀氏

主催：NPO 砂浜美術館

参加者：31名



② 安田町で化石を探そう

約 270 万年前の貝化石などを採集。クリーニングと名前調べをして、当時の環境について学習しました。
日時：令和 4 年 2 月 19 日（土）9:50～15:30
場所：安田町唐浜 化石採集場、高知県立青少年センター
講師：高知化石研究会 三本 健二氏
参加者：21 名



③ 土佐ヒノキ間伐材のマイ箸づくり体験教室

土佐ヒノキの間伐材を削って焼きペンで名前を入れ、柿渋を塗って、長く使える箸に仕上げました。
日時：令和 4 年 3 月 2 日（水）10:00～12:00
場所：四万十市市民ふれあいセンター
講師：NPO 芸農人 千葉 洋氏、矢野富久味氏
参加者：4 名 ※新型コロナウイルス感染防止のため、定員を 10 名から 4 名に変更して実施しました



④ わちあうことよりそうこと～環境学習の一步前に～

環境学習の導入時に参加者の相互理解を促すプログラムを体験しました。
日時：令和 4 年 3 月 12 日（土）13:00～15:00
場所：こうち男女共同参画センター「ソーレ」
講師：高知県シェアリングネイチャー協会
参加者：10 名



⑤ 建築士と行く「五感で感じる」里山の古民家見学ツアー

～ふるさとの田舎は、生命の泉 自然環境を守る集落ときめき再生～
佐川町の限界集落で築 98 年の古民家を見学し、里山の景観を次世代に残す効果について考えました。
日時：令和 4 年 3 月 13 日（日）10:00～12:00
場所：高知県高岡郡佐川町古畑耕の集落
講師：(有)岩城建築設計事務所 片岡 正治 氏
参加者：17 名



⑥ 小さな科学者（×アーティスト）になろう

ぬりえやなぞり描きなどで自然観察力を育むプログラムを体験しました。
日時：令和 4 年 3 月 19 日（土）10:00～16:00
場所：こうち男女共同参画センター「ソーレ」
（「こうち環境博 2022」会場）
講師：日本ネイチャージャーナルクラブ 小林絵里子 氏
参加者：50 名



5 生物多様性の意義の普及・啓発

1) ふるさとでのいのちをつなぐ こうちプラン大賞

高知県内における生物多様性保全活動の主流化に向けて、県内のさまざまな地域における「生物多様性こうち戦略」の行動計画に沿った生物多様性の保全と持続可能な利用につながる取り組みを募集・表彰し、県民による生物多様性保全の取り組みを促進することを目的に、「令和3年度 ふるさとでのいのちをつなぐ こうちプラン大賞」を開催しました。

第1回となる今回は、生物多様性こうち戦略推進リーダーをはじめ、県内の環境活動団体、小・中・高等学校、大学、市町村役場や集落活動センター等に周知を図り募集したところ、13組の応募がありました。



- ◇募集期間 令和3年10月1日(金)～11月30日(火)
- ◇応募対象者 高知県内で生物多様性の保全と持続可能な利用に資する取り組みを行う個人、団体、学校、事業者、市町村およびこれらの協働体。
- ◇対象とする取り組み
 - (1) 知る・広める 生物多様性の価値を知り社会全体で共有する取り組み
 - (2) つなげる 生物多様性を次世代につなぐ仕組みと基盤をつくる取り組み
 - (3) 守る 自然環境の保全と回復を図る取り組み
 - (4) 活かす 生物多様性の恵みを活かした地域産業の持続と活性化の取り組み
- ◇表彰の種類
 - (1) こうちプラン大賞(知事表彰)1組：賞状及び副賞5万円(又は相当品)
 - (2) 優秀賞(知事表彰)3組：賞状及び副賞各2万円(又は相当品)
 - (3) 奨励賞(知事表彰)1組：賞状及び記念品

① 選考委員会の開催

有識者6名からなる選考委員会を設置し、選考要領、募集要項等の策定、表彰の対象となる取り組みの選考を行いました。

■ふるさとでのいのちをつなぐ こうちプラン大賞 選考委員

- 石川 慎吾 (高知大学名誉教授)
- 岩内 史子 (生活協同組合 コープ自然派しこく 理事)
- 川崎 弘佳 (高知大学教育学部 非常勤講師)
- 佐久間 雄一郎 (株式会社四国銀行 地域振興部 調査役)
- 豊永 大五 (高知県林業振興・環境部 副部長)
- 野並 良寛 (株式会社クリケット 代表、「季刊高知」編集長)

■選考委員会

第1回	令和3年10月19日	選考要領、募集要項の策定等
第2回	令和4年1月18日	1次選考（書類選考）
第3回	令和4年3月21日	2次選考（公開選考会）

② 応募受付

- ◇応募方法 自薦または他薦。ホームページの応募フォーム、所定の応募用紙に必要事項を記入し、メールかFAX、郵便で事務局へ送付又は持参
- ◇受付期間 令和3年10月1日(金)～11月30日(火)
- ◇応募数 13件

③ 一次選考（書類選考）

選考委員による書類選考を行い、全応募者の中から、優秀賞4組、奨励賞1組を選考しました。

日 時：令和4年1月18日（火）10:00～12:00
会 場：こうち男女共同参画センター3階 研修室3

◇優秀賞（4組）

「生物多様性こうち戦略」が目指す、生物多様性の保全と持続可能な利用に資する優れた取り組み。

◇奨励賞（1組）

生物多様性の保全と持続可能な利用に資する今後の発展が期待される取り組み。

④ 公開選考会・表彰式の開催

一次選考で選ばれた優秀賞4組の応募者に取り組み内容についてのプレゼンテーションを行ってもらい、こうちプラン大賞1組を選考する公開選考会を開催し、受賞者に賞状および副賞、記念品を授与しました。

公開選考会・表彰式は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から Zoom ウェビナーによるオンライン開催とし、会場には受賞者と選考委員のみが出席しました。



◇日 時：令和4年3月21日（月・祝）13:00～16:00

◇Zoom ウェビナーによるオンライン開催

（会場：オーテピア 4階ホール）

◇プログラム

優秀賞受賞者によるプレゼンテーション（4組）

奨励賞受賞者（1組）・応募団体（8組）の活動紹介

こうちプラン大賞発表・講評

賞状・副賞の授与



⑤ 選考結果

賞	応募者	取り組みのタイトル
こうちプラン大賞	久重 natural チーム	①2018 年度「豊かな里山の四季の食材を発見し、久重のごちそうを広めよう！」 ②2019 年度「空と大地の恵み豊かな久重の魅力を多くの人に伝えよう～星空観測と保存食でまちを元気に！～」 ③2021 年度「里山保全で久重を発信！～SDGs で持続可能なまちづくり～」
優秀賞	高知商業高等学校ジビエ商品開発・販売促進部	コロナ禍でのジビエ消費拡大に向けた取組～そこから生まれた新プロジェクト～
	奥田川親水公園の会	奥田川周辺の豊かな自然を活用しながら、子どもたちがふるさとを愛し、循環共生する地域社会を未来へ繋げていくプロジェクト
	ジンデ池生物研究所	ジンデ池の生物多様性を地域の宝に！
奨励賞	室戸ジオパーク推進チーム「まもるチーム」	PROJECT ウチワサボテン

2) 生物多様性こうち戦略推進リーダー活動報告会の開催

生物多様性こうち戦略推進リーダーのスキルアップと交流・情報交換の機会を提供することを目的に、登録リーダーの活動報告会を開催しました。

① 「絵が苦手でもかける自然観察ノート ネイチャージャーナルを体験しよう」



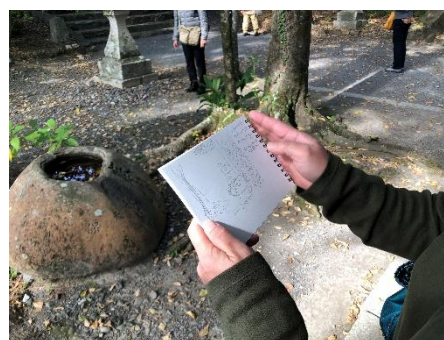
自然画家・イラストレーターの小林絵里子さんが主宰する「日本ネイチャージャーナルクラブ」の活動について聞き、植物の観察・記録をする「ネイチャージャーナル」の手法による自然観察のしかた、役に立つ記録のとり方を学びました。

日 時：令和3年11月18日(木) 10:00~12:30

場 所：山内神社、高知市市民活動サポートセンター

参加者：7名（うちリーダーおよび養成講座受講者5名）

報告者：小林 絵里子 氏（日本ネイチャージャーナルクラブ）



② 「土佐のお庭は薬箱」



漢方薬・生薬認定薬剤師の関田泰子さんに、高知県内で調査した民間薬のお話や薬草の効果、薬草を使ったレシピ等について聞き、自然資源の活用についての知見を広げました。

日 時：令和4年2月5日(土) 14:00~15:30

会 場：オンライン開催（ソーレ 研修室1）

報告者：関田 泰子さん（高知薬草健工房）

参加者：16名（うちリーダーおよび養成講座受講者13名）



3) 普及啓発キット（パネル・資料等）の貸出し

生物多様性こうち戦略推進リーダーの活動支援を目的に、講師としての活動の際やイベント出展時に使用してもらうための普及啓発パネルやグッズ、資料等を揃えています。

■普及啓発キットの内容

- ・生物多様性こうち戦略（概要版）パネル（13枚）、パンフレット
- ・「まもろう高知家自然のなかまたち」リーフレット等
- ・「生物多様性×こうち」缶バッジ、エコバッグ



■活用実績

利用日	場所・イベント等	活用内容
令和3年 7月11日	生物多様性こうち戦略推進リーダー活動現場体験ツアー 『ジンデ池の生物調査と保全活動』（須崎市）	こうち戦略パンフレット・エコバッグ配布
7月24日 7月31日	生物多様性こうち戦略推進リーダー養成講座 （高知市）	
9月18日	生物多様性こうち戦略推進リーダー活動現場体験ツアー 『高知の宝・今ノ山の植物を知ろう』（土佐清水市）	
10月24日	ホテルの川「本宮川 生きもの調査会」 （主催：ふる里の川 本宮川を取りもどす会）	こうち戦略パンフレット、缶バッジの配布
10月30日 10月31日	鏡川緑地公園イベント、もくもくエコランド （高知市）	エコバッグぬり絵、パンフレット等の配布
11月18日	生物多様性こうち戦略推進リーダー活動報告会 （高知市）	エコバッグ配布
11月28日	高知「環境絵日記」表彰式（香南市）	エコバッグ配布
令和4年 2月19日	冬の野鳥観察会 2022	こうち戦略パンフレット配布
2月19日	安田町で化石を探そう	こうち戦略パンフレット・エコバッグ配布
3月13日	建築士と行く「五感で感じる」里山の古民家見学ツアー	こうち戦略パンフレット・エコバッグ配布
3月21日	令和3年度 ふるさとのいのちをつなぐこうちプラン大賞 公開選考会・表彰式	こうち戦略パンフレット・エコバッグ配布

6 環境活動団体の支援

1) 助成金情報の提供

メールマガジン「えこらぼだより」を通して、助成金や補助金募集に関する情報を提供しました。また、環境活動団体や生物多様性こうち戦略推進リーダー等を対象に、それぞれの活動内容に合った助成金等を個別に紹介したり、申請書の書き方についての助言を行うなど、環境活動団体の外部資金獲得のための支援を行いました。

■メールマガジン「えこらぼだより」

助成金情報の提供 60 件

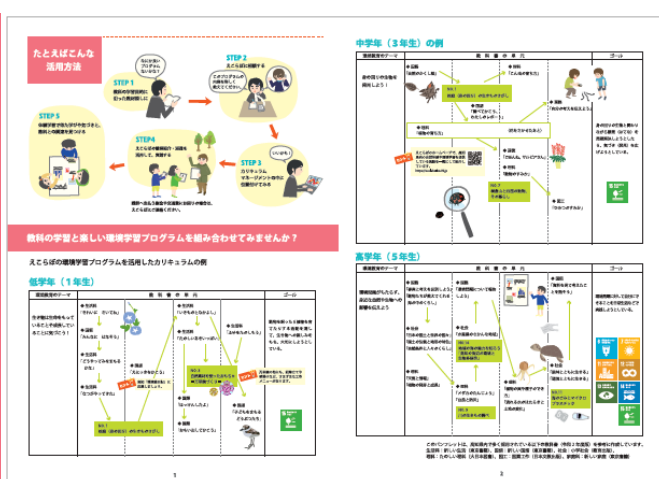
7 その他、環境保全や環境学習、県民・環境団体の環境活動の支援に資する業務

1) 環境学習プログラムリストの作成・活用

学校の授業における環境学習機会の提供を促進するため、現場の教員の方々の協力を得て、学校教員向けの環境学習プログラムリストを作成し、これを活用した授業の企画実施に取り組んでいます。

① 小学校向け環境学習プログラムリスト「環境学習で横断するカリキュラムマネジメント 授業でのえこらぼ活用のすすめ 一小学校編」の活用

令和 2 年度に作成した環境学習パンフレットの利用が広がり、今年度は県内 24 の小学校等で延べ 39 回の授業が実施されました。



中学校および高等学校向けのプログラムリストは、地域や社会の課題に対する探究的な学びに対応したプログラムや専門的知識及び実践経験のある講師を紹介するとともに、講師紹介・派遣事業の利用方法を掲載した資料を作成・配布し、外部講師による環境学習の実施へのきっかけづくりを目指すこととしました。

社会人向けには、公民館やコミュニティーセンター等における生涯学習や、地域活動におすすめの学習テーマの例や、えこらぼの講師紹介・派遣の利用方法をまとめた資料を作成し、生涯学習担当者への情報提供としました。

2) 環境にやさしい行動への変容を促すリーフレットの作成と配布

高知県がめざす、地球温暖化対策が進んだ脱炭素社会、環境への負荷が少ない循環型社会、自然環境の保全が図られた自然共生社会の3つの社会づくりに向け、県民一人ひとりの行動変容を促すことを目的としたポケット版リーフレット「まもろう高知の環境」を、えこらぼが実施するイベントや環境学習の参加者等に配布しました。



8 PR 活動

1) PR ツールの活用

えこらぼの認知度・存在感の向上を図るため、パンフレットよりも気軽に受け取ってもらえる PR ツールとして、えこらぼの連絡先や URL、事業案内を記した名刺大のカードをイベントや環境学習の参加者に配布しています。



2) 報道機関への情報提供

センターが行うイベント等の実施に際しては、事前の報道機関への情報提供や後援申請を確実にし、取材や情報発信を要請しました。

■報道実績

媒体	日付	内容
ラジオ	11/1	ふるさとこのちをつなぐこうちプラン大賞募集
	12/6	高知「環境絵日記」入賞作品展
	2/7	「安田町で化石をさがそう」告知
	2/25	建築士と行く「五感で感じる」里山の古民家見学ツアー
新聞	高知新聞	11/24 高知「環境絵日記」入賞作品展
テレビ	高知ケーブルテレビ	11/27～12/3 高知「環境絵日記」の紹介
	KUTV テレビ高知	3/13 「建築士と行く「五感で感じる」里山の古民家見学ツアー」取材（放送予定：令和4年4月）

9 センターの運営

1) センターの開館日及び開館時間

月曜日 10:00～17:00 火～金曜日 10:00～18:00

土曜日 13:00～17:00

休館日 日曜日、国民の祝日・休日、第2水曜日、年末年始（12月29日～1月3日）、
その他イベントの実施等に伴う臨時休館日（HP等で事前に告知）

2) 運営委員会の組織・運営

有識者等で構成する運営委員会を設置・開催し、センター事業への助言を得ました。

■令和3年度高知県環境活動支援センター業務外部運営委員 名簿（敬称略）

	団体名	役職	氏名
委員長	高知大学教育研究部 総合科学系	教授	飯國 芳明
委 員	公益財団法人四万十川財団	事務局長	神田 修
	ゆすはら産業担い手実践塾	副塾長	笹岡 高志
	高知市立浦戸小学校	校長	藤田 由紀子
	高知県林業振興・環境部	副部長	豊永 大五
	特定非営利活動法人環境の杜こうち	副理事長	西尾 健一

■第1回運営委員会

令和3年6月4日（金）10:00～12:00 Zoomによるオンライン開催

■第2回運営委員会

令和4年2月15日（火）13:00～14:30 Zoomによるオンライン開催

3) 高知県との定期連絡会の開催

業務内容や運営方法等について、県所管課と協議する連絡会を行いました。

■第1回 4月 13日（火）

■第2回 7月 12日（月）

■第3回 10月 12日（火）

■第4回 1月 11日（火）

高知県環境活動支援センターえこらぼ
令和3年度の取り組み

発行日	令和4年3月
発行	高知県環境活動支援センターえこらぼ (令和3年度高知県環境活動支援センター事業)
所在地	〒780-0935 高知県高知市旭町三丁目115番地 こうち男女共同参画センター3階
電話	088-802-7765
FAX	088-802-2205
E-mail	center@ecolabo-kochi.jp
ホームページ	http://ecolabo-kochi.jp/
利用時間	月曜日 9:00～17:00 火～金曜日 9:00～18:00 土曜日 13:00～17:00 ※日曜日、祝日、第2水曜日休み
管理運営団体	特定非営利活動法人 環境の杜こうち